

政策 目標	重点 課題	頁	主 要 事 業	所 管 部	事業費
<b>5. 市民が創る自治と文化の街</b>					
市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり					
		P43	◎ まちづくり戦略ビジョンの推進	政策企画部	27,000
		P44	白石区複合庁舎の整備	地域振興部	1,322,059
				保健所	14,709
				子育て支援部	83,538
				中央図書館	6,459
		P45	まちづくりセンター・地区会館更新事業	地域振興部	509,128
		P46	◎ 将来を見据えたまちづくりの推進	地域振興部	25,000
		P47	○ 企業やNPOによるまちづくり活動の充実支援	地域振興部	19,000
		P48	アイヌ伝統文化振興事業	市民生活部	30,146
多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり					
		P49	○ 創造都市さっぽろ推進事業	政策企画部	50,961
		P50	○ 札幌国際芸術祭の開催	文化部	463,196
		P51	中央体育館改築事業関連	スポーツ部	8,656
				市街地整備部	91,200
		P52	◎ 冬季オリンピック・パラリンピック開催調査費	スポーツ部	10,000

# まちづくり戦略ビジョンの推進【新規】

政) 政策企画部

(単位: 千円)

## 目的

人口減少や高齢化の急速な進行などの社会経済情勢の変化を見据え、今後10年間のまちづくりの基本的な指針として策定した「まちづくり戦略ビジョン」を官民一体となって推進

## 事業内容

[事業費: 27,000千円]

戦略ビジョンに掲げる3つの重点テーマの施策や取組を広く市民と共有し、共にまちづくりを進めていくための重点的なPRを実施

- ・ 未来創造プロジェクト※機運醸成 10,000千円  
(市民フォーラム、ワークショップほか)
- ・ イメージ映像制作 (未来像2種類) 15,000千円
- ・ 中学生向け副読本作成 (17,000部) 2,000千円

## スケジュール

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



※まちづくり戦略ビジョンに掲げた官民一体となって推進するプロジェクトで、  
①新幹線の札幌延伸の早期実現、②冬季スポーツ国際大会の誘致、③災害時のリスク分散に向けたバックアップ拠点の形成、の3つの取組のこと

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	0	27,000	-	-
(うち一般財源)	(0)	(27,000)	-	-
査定の考え方等				



# 白石区複合庁舎の整備

市)地域振興部、保)保健所  
子)子育て支援部、教)中央図書館

## 目的

地下鉄白石駅に隣接する市有地に区役所を始めとする公共施設の移転整備を行うなど、地域交流拠点にふさわしい機能を導入

## 事業内容

[事業費：1,426,765千円]

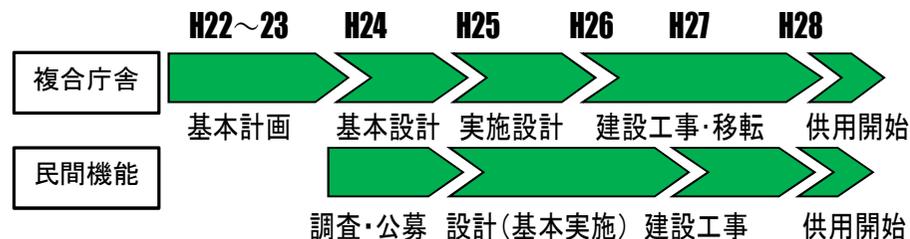
庁舎等整備用地の取得、庁舎建設工事（初年度）、整備に対する市民意見の反映に向けた取組み等

- ①-1 白石区複合庁舎等整備 1,322,059千円
- ①-2 区保育・子育て支援センター整備（白石区） 83,538千円
- ①-3 保健センター整備 14,709千円
- ①-4 仮称)絵本図書館整備 6,459千円

### 取組事項

- ・基金地買戻し 1,260,983千円
- ・庁舎建設工事（初年度、監理費等含む） 134,080千円
- ・区民検討会等 31,702千円

## スケジュール



(単位:千円)

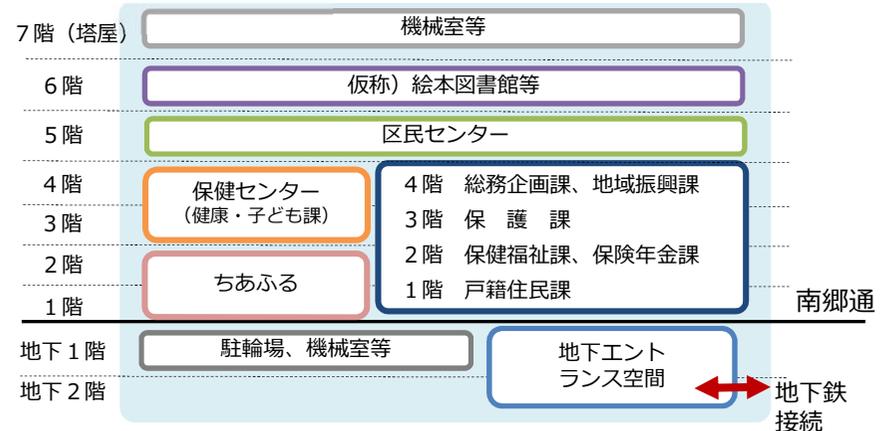
	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	78,000	1,426,765	-	-
	(うち一般財源)	(37,000)	(858,741)	-
査定の考え方等			【特定財源】	
			国庫支出金	4,024
			市債	564,000

<敷地概略図>



敷地の一部について貸付を行い、公募により選定された事業者が民間施設等を整備

<白石区複合庁舎 階構成>



# まちづくりセンター・地区会館更新事業

市)地域振興部

(単位:千円)

## 目的

地域のまちづくり活動の拠点であるまちづくりセンター・地区会館の整備推進による活動のさらなる活性化

## 事業内容

[事業費：509,128千円]

まちづくり活動拠点整備の新たな手法として、まちづくりセンターを小学校校舎内に設置

・改築設計費等 9,585千円

○25～26年度設計等、27～28年度工事

想定施設 二条小学校・まちづくりセンター



老朽化等により改築時期が到来したまちづくりセンター・地区会館を更新

・改築工事費等（3館） 478,120千円

・改築設計費等（1館） 21,423千円



白石まちづくりセンター・地区会館

○26年度工事（3館）  
 幌北まちづくりセンター・幌北会館  
 木造 2階建て  
 西岡まちづくりセンター・西岡会館  
 木造 2階建て  
 北野まちづくりセンター・北野連合会館  
 木造 2階建て

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	360,900	509,128	-	-
(うち一般財源)	(343,905)	(472,065)	-	-
査定の考え方等		【特定財源】		
		寄附金		37,063

(単位:千円)

## 目的

超高齢社会と人口減少社会の到来に伴い、将来を見据えた地域課題への対応を強化するため、地域活動の議論を活発にする情報提供や、区と本庁が連携して取り組む重点的な課題の解決などを推進

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	0	10,000	-	-
(うち一般財源)	(0)	(10,000)	-	-
② 事業費	0	15,000	-	-
(うち一般財源)	(0)	(15,000)	-	-
査定の考え方等				

## ①戦略的地域カルテ・マップ構築推進事業

[事業費: 10,000千円]

将来の地域課題を見据えて、地域のまちづくり活動を議論し、実践していくため、地域カルテ・マップへの将来推計等の追加や職員によるマップ編集を可能とするシステム整備などを実施

- ・地域カルテ・マップの整備 3,700千円  
(将来推計等を含めたデータ整理及び印刷など)
- ・地域マップシステム構築 6,300千円



情報提供のツールとして活用

## ②地域マネジメント推進事業

[事業費: 15,000千円]

複雑・困難な地域課題に対して、地域や区、本庁などが連携し、解決に向けた協議及び迅速かつ柔軟に対応を推進

### 【平成26年度の実施内容】

- ◇不適切管理空き家への対応 10,000千円  
有識者検討会の実施、緊急的被害防止措置など
- ◇地域課題に関する先行調査 5,000千円  
(想定される調査内容)
  - ・高齢化地域の住民ニーズ調査と施策等の検討
  - ・今後の交流拠点となる町内会館等の現況調査

# 企業やNPOによるまちづくり活動の充実支援 市)地域振興部

(単位:千円)

## 目的

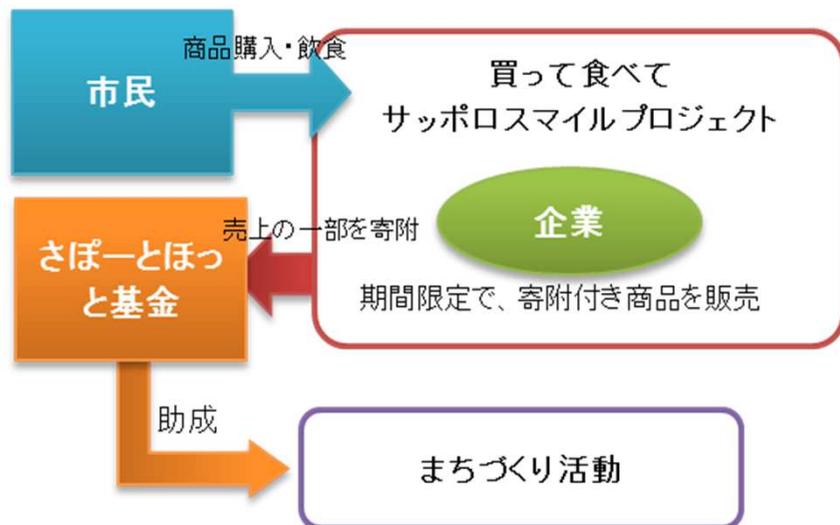
多様な主体の参加により地域のまちづくり活動を活性化させるため、企業の社会貢献機会の創出や、地域と連携し課題解決に取り組むNPOへの支援を実施するとともに、市民の寄附を通じたまちづくり参加を促進

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	0	3,000	-	-
(うち一般財源)	(0)	(3,000)	-	-
② 事業費	5,928	16,000	-	-
(うち一般財源)	(5,928)	(16,000)	-	-
査定の考え方等				

### ① CSR※促進強化学業【新規】

[事業費：3,000千円]

企業によるまちづくり活動を促進するため、社会貢献に関心のある企業にCSR体験機会を提供する「買って食べてサッポロスマイルプロジェクト」を実施



※CSR：企業の地域・社会貢献活動

### ② NPOによる地域ネットワーク事業

[事業費：16,000千円]

多様な活動主体のネットワーク化により、地域が活性化する仕組みを構築するため、NPOと町内会等のマッチングなどを支援するとともに、協働提案による事業に財政的支援を実施

◇事業補助 7地域×2,000千円 14,000千円

- ※要件 ①NPOと地域の協働提案
- ②次年度以降の事業継続の仕組み

◇連携支援事業 2,000千円

※課題解決のノウハウ等を有するNPOと地域のマッチングなどを支援



多様な活動主体の協働による地域力の底上

(単位:千円)

## 目的

先住民族であるアイヌ民族に対する市民理解を促進し、アイヌ民族の誇りが尊重されるまちを実現

## 事業内容

[事業費: 30,146千円]

アイヌアートモニュメントの制作、設置やアイヌ民族の伝統文化の保存・継承のためのイベント等を実施

- ・モニュメント制作・設置 19,612千円
- ・公共空間等での情報発信等 5,228千円
- ・小中高生体験プログラム 2,445千円
- ・アイヌ施策推進委員会運営等 2,861千円

## スケジュール

26年度 モニュメント制作、設置  
小中高生体験プログラムについては、実施校を順次増やし、26年度は50校で実施

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	16,500	30,146	-	-
(うち一般財源)	(16,500)	(30,146)	-	-
査定の考え方等				

モニュメント(イメージ)



情報発信



小中高生体験プログラム



# 創造都市さっぽろ推進事業

政) 政策企画部

(単位: 千円)

## 目的

文化芸術に代表される創造性を活用した都市活性化の取組である「創造都市さっぽろ」推進のため、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟に向けて各種取組を実施。札幌駅前通地下歩行空間北2条広場を創造都市さっぽろの発信拠点として運用

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	30,064	50,961	-	-
(うち一般財源)	(30,064)	(50,961)	-	-
査定の考え方等				

## 事業内容

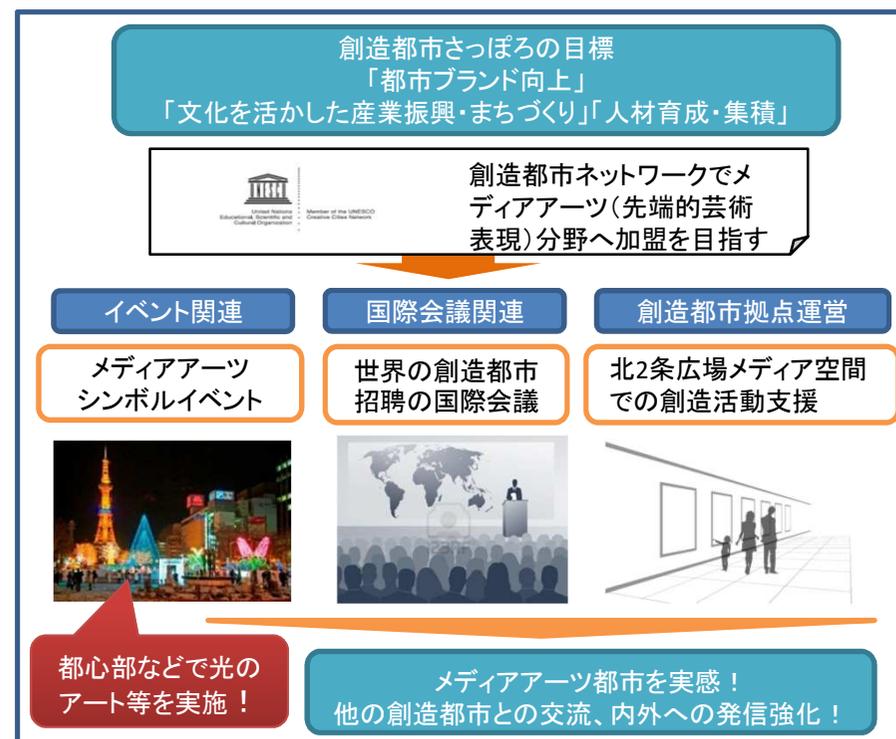
[事業費: 50,961千円]

創造都市さっぽろ推進、普及・啓発及び札幌駅前通地下歩行空間北2条広場メディア空間運営等

- ・メディアアーツイベント、国際会議 20,704千円
- ・創造都市国際交流等 6,260千円
- ・創造都市ネットワーク加盟推進普及啓発等 5,100千円
- ・創造都市アワード・ワークショップ等実施 2,813千円
- ・地下歩北2条広場メディア空間保守運営 15,064千円
- ・その他事務費 1,020千円

## スケジュール

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



# 札幌国際芸術祭の開催

観)文化部

## 目的

アートで世界と結ぶ札幌を目指し、「創造都市さっぽろ」の象徴的な事業として、都市と自然が調和した札幌特有の環境を活かした定期的な国際芸術祭を開催

(単位:千円)

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	0	453,244	-	-
(うち一般財源)	(0)	(233,244)	-	-
② 事業費	0	9,952	-	-
(うち一般財源)	(0)	(9,952)	-	-
査定の考え方等			【特定財源】	
			①国庫支出金	200,000
			諸収入	20,000

## ①国際芸術祭開催運営

[事業費: 453,244千円]

実施主体となる実行委員会を運営し、札幌国際芸術祭2014を開催

- ・札幌国際芸術祭2014開催 430,000千円
- ・事務費等 23,244千円

[主な会場]



## ②札幌市資料館リノベーション推進事業

[事業費: 9,952千円]

札幌市資料館を、市民の創造性を育み発揮できる場としてリノベーションするための基本計画の作成

- ・基本計画検討委員会の設置運営 3,375千円
- ・建物構造調査 6,127千円
- ・事務費等 450千円



# 中央体育館改築事業関連

観)スポーツ部  
都)市街地整備部

(単位:千円)

## 目的

特定都市再生緊急整備地域の指定を受けている北4条東6丁目周辺地区において、新中央体育館の建設を含む再開発事業を推進

### ①中央体育館改築事業

札幌市の新たなスポーツ交流拠点として改築する中央体育館の実設計について、業務を行う再開発組合に負担金を支出

[事業費：8,656千円]

【施設の想定規模等】

- ・所在 中央区北4条東6
- ・構造 RC造 地上3階
- ・規模 延床面積 14,000㎡程度

## スケジュール

※北4条東6周辺地区まちづくりの進捗によっては今後変更の可能性あり。

平成25年度 (2013年)	平成26年度 (2014年)	平成27年度 (2015年)	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	平成31年度 (2019年)
①中央体育館改築事業 基本設計、調査等		実施設計	解体	建設工事	オープン■	
②北4条東6周辺地区再開発事業 基本設計、調査等		実施設計		建設工事		

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
①	事業費	44,400	8,656	-
	(うち一般財源)	(44,400)	(3,656)	-
②	事業費	0	91,200	-
	(うち一般財源)	(0)	(45,600)	-
査定の考え方等		【特定財源】		
		①市債		5,000
		②国庫支出金		45,600

### ②北4条東6周辺地区再開発事業

再開発事業の施行者に、調査・設計計画費の一部を補助

[事業費：91,200千円]

- 【事業内容】
- ・地区面積 : 3.5ha
  - ・用途 : 体育館、医療、共同住宅、商業等

# 冬季オリンピック・パラリンピック開催調査費【新規】

観)スポーツ部

(単位:千円)

## 目的

冬季オリンピック・パラリンピック招致について市民議論を深めるため、札幌で冬季オリンピックを開催する場合の収支や効果等に関する調査を実施

## 事業内容

[事業費: 10,000千円]

近年の冬季オリンピックの例を参考にしながら、札幌で開催する場合の運営収支や各競技の施設整備費、選手村等競技以外の施設整備費、経済波及効果などを調査

(調査内容)

- ・ 先行事例
- ・ 競技施設建設費
- ・ 選手村・インフラ整備費、大会運営・招致経費
- ・ 経済波及効果等

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	0	10,000	-	-
(うち一般財源)	(0)	(10,000)	-	-
査定の考え方等				

## これまでの冬季オリンピック開催地

1972年	札幌(日本)	1998年	長野(日本)
1976年	インスブルック(オーストリア)	2002年	ソルトレイクシティ(アメリカ)
1980年	レークプラシッド(アメリカ)	2006年	トリノ(イタリア)
1984年	サラエボ(ユーゴスラビア)	2010年	バンクーバー(カナダ)
1988年	カルガリー(カナダ)	2014年	ソチ(ロシア)
1992年	アルベールビル(フランス)	2018年	平昌(韓国)
1994年	リレハンメル(ノルウェー)	2022年	未定

